

# 長島文芸

ながしまぶんげい

## 長島短歌会

夕暮るる漁村は早くこもりたり潮騒に灯りぼつぼつと見ゆ  
 菜さい甘き豌豆に鉄当てをれば蜜蜂二つ腕にまつはる  
 晴るるとも降るともなく春の日は曖昧にして夕暮れんとす  
 起き抜けの向山深き靄もや覆ひゆくゆく南へ流れゆくなり  
 雨あがり影さす庭に木蓮の花ほころびて廻り明るし  
 庭の辺の百年生さし犬楨の細葉に春の小雨降りつく

岩下ち江  
 米尾和子  
 坂之下典子  
 中山タマエ  
 浜田美代子  
 松元睦子

## 一般作品

道の駅友の名前を見つけたたり人参イモを多めに買ひし  
 六月の九十九を前にして義母おばが逝く遺影見やれば笑顔に悔ゆる  
 長島の大空を高く鶴の舞うなごみてゆかんわが故郷よ  
 断捨離に愛したものの数々を今日から毎日削そぎ落し行く  
 忘れない変かわたのだよ世の中は油断しない事自分に来るよ  
 柔らかく寄り添うように風がふく頑張ったねと葉桜の樹に  
 春のかや母と二人でぬいし物ゆめにねてまつむしのなくわがやかな  
 正月に遠くの子等の帰省あり語り少なしされどうれしい

小林 貢  
 小林如月  
 中飯屋辰子  
 後藤ヨシエ  
 町田末則  
 母木良平  
 宗方正喜  
 川島輝文

## 長島の

## 歌人集まる

## 広場あり

## 明神俳句会

病む妻へ味噌を薄めに薩摩汁  
 曳航えいの台船遅々と風光る  
 新宅へ運ぶピアノや梅日和  
 如月の雨に始まる母のデイ  
 立春や本屋にパズル買ひに行く  
 主亡き庭の梅が枝天に伸ぶ

淵 脇 護 春待ちの漁師もじやこの網広く 大堂正弘  
 追口君代 精米のこぼれ啄む寒雀 関佳代美  
 二階堂妙子 日の出づる国に梅の香あふれけり 白男川孝仁  
 大堂早苗 鳥が舞ふ立春の空晴れわたる 二階堂恵子  
 山崎加代子 冴え返る古墳の石に陽のあたる 坂口静子  
 関喜久雄

## 町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介



グリンピースのグリピー

作：わ。

「グリンピースのせないでよ〜」っていわずまずはひとくち食べてあげてください。



おとうさんは103歳

信反直子：作

しあわせは、ふつうの毎日の中にある。そんな風に思える絵本です。

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-5651

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1121